

昔の学校の様子 日新館

6月13日、わたしたち六年生は修学旅行で日新館に行きました。日新館では昔の学校の様子を見ることができました。



リアルなマネキンを使っていたので、昔の学校の様子が分かりやすかったです。机がないし、ずっと正座なので大変だなあと思いました。「厳しそうだなあ」とも思いました。

会津の男の子は、10才になると、日新館という学校に入学するきまりになっていました。また、これとは別に6才から9才までの幼い子供たちは、入学前から立派な生徒になろうとして、子供たちだけで集まりを作りました。この集まりを、「お話の什」または「あそびの什」といっていました。それは、「弱い者をいじめてはなりません」や「戸外でものを食べてはなりません」などがありました。

まず、「会津武士の子供はこのようにしなければならぬ」という心がまえから、おたがいに、約束を決め、子供たちの家を順番に会場にして、そこで熱心に反省会を開きました。そして、その約束ごとにそむかないように努力したのです。いくつかある約束ごとのおわりに、「ならぬことはならぬものです」という言葉がありますが、将来りっぱな指導者となる武士としての自覚と責任がこうして子供のときからしっかりとつけられたのです。

そして、わたしたちも実際に授業を体験しました。



先生が「ならぬことはならぬものです」と言ったら、わたしたちも「ならぬことはならぬものです」といい、礼をしました。

体験できたおかげで6才から9才の幼いこどもたちが、どれだけ熱心だったかがよくわかりました。